

クローナリティー解析の 有用性の再検討

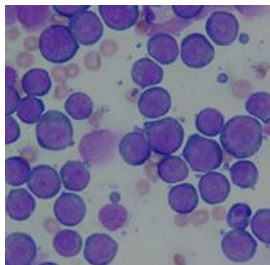
クローナリティー解析は、リンパ腫・リンパ性白血病の検査として一般的となってきました。今回は、弊社で検査を行った多数の症例のデータをまとめ、クローナリティー解析の有用性を再検討しました。検査をご利用いただく際に、ご参照ください。

＜方法＞

リンパ腫の疑われたイヌ347症例について細胞診を実施し、以下の4つのグループに分類しました。それぞれのグループにおける、クローナリティー解析の検出率を算出しました。

- グループ①：リンパ芽球の増殖からリンパ腫と確定診断の得られた症例（237症例）
- グループ②：組織球性肉腫などリンパ腫以外の腫瘍であった症例（27症例）
- グループ③：成熟リンパ球の増殖から高分化型リンパ腫が疑われたものの細胞診ではリンパ腫と確定診断に至らなかった症例（39症例）
- グループ④：成熟リンパ球と炎症性細胞の出現から非腫瘍性（反応性変化）と診断された症例（44症例）

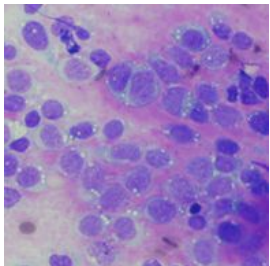
＜結果＞

細胞診	クローナリティー解析	症例数	検出率
リンパ腫と確定診断 (グループ①) 	IgH	163/237	68.8%
	TCR-IgH	8/237	3.4%
	TCR	38/237	16.0%
	検出されず	28/237	11.8%

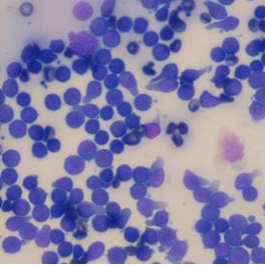
88.2%

IgH:免疫グロブリンに単一のバンドが検出された症例(Bリンパ球がモノクローナルに増殖)
TCR-IgH:免疫グロブリンとT細胞レセプターの両方に単一バンドが検出された症例
TCR:T細胞レセプターに単一のバンドが検出された症例(Tリンパ球がモノクローナルに増殖)

リンパ腫では高率にモノクローナルな増殖を検出

細胞診	クローナリティー解析	症例数	検出率
リンパ腫以外の腫瘍 (グループ②) 	IgH	0/27	0%
	TCR-IgH	0/27	0%
	TCR	0/27	0%
	検出されず	27/27	100%

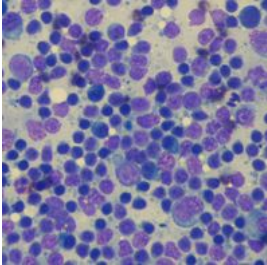
偽陽性は限りなく0%に近い

細胞診	クローナリティー解析	症例数	検出率
高分化型リンパ腫疑い* (グループ③) 	IgH	4/39	10.3%
	TCR-IgH	1/39	2.6%
	TCR	23/39	58.9%
	検出されず	11/39	28.2%

71.8%

*細胞診では、高分化型リンパ腫の確定はできないことから、評価は「疑い」まで。

細胞診でリンパ腫が疑われる症例(グループ③)では高率にモノクローナルな増殖が検出され、リンパ腫の可能性が低い症例(グループ④)では、検出率は低い。
 ⇒細胞診とクローナリティー解析の結果は相関する。

細胞診	クローナリティー解析	症例数	検出率
非腫瘍性(反応性変化) (グループ④) 	IgH	3/44	6.8%
	TCR-IgH	1/44	2.3%
	TCR	3/44	6.8%
	検出されず	37/44	84.1%

15.9%

＜まとめ＞

(利点)

- ◇クローナリティー解析は、高率(88.2%)にリンパ球のモノクローナルな増殖を検出
- ◇細胞診など形態学的評価をあわせることで、高精度な診断が可能



クローナリティー解析は、リンパ腫を含む**リンパ球系腫瘍の診断において、**
有用な検査となりうる

(注意点)

- ◇クローナリティー解析の**検出率は、100%ではない。**
 →クローナリティー解析単独による診断は、誤診につながる可能性あり

株式会社 ケーナインラボ

〒184-0012
 東京都小金井市中町2-24-16
 農工大・多摩小金井ベンチャーポート302
 電話:042-401-2291(代表)
 042-401-2294(検査室)
 FAX:042-382-7384
 HP:www.canine-lab.jp E-mail:info@canine-lab.jp
お気軽にお問い合わせ下さい。



検体集荷

株式会社 モノリス

〒182-0012
 東京都調布市深大寺東町8-31-6
 電話:042-443-7200(代表)
 042-443-6181/6183(集荷)
 FAX:042-443-6182
検体集荷はモノリスが代行しています。

